

2025年1月27日

株式会社 JPメディアダイレクト

当社初の CSR 活動として、カンボジアの学校へ遊具等を設置しました

日本郵政グループの株式会社 JPメディアダイレクト（東京都港区、代表取締役 CEO 佐野公紀、以下「JPMD」）は、このたび、当社初となる CSR 活動として、公益財団法人シャンティ国際ボランティア会(東京都新宿区 会長 若林恭英 以下「シャンティ」)を通じてカンボジアの幼児教育部門へ寄付支援を行い、遊具等を設置いたしました。



カンボジアの先生達とともに

カンボジアの幼児教育への寄付支援

カンボジアの教育の現状は、内戦直後と比べ、教育支援や教師の数が増加傾向にあるものの、教師の数や質の低さ、学校設備の未整備、そして地域格差など、いまだ多くの課題を抱えています。

そのため、学校や幼稚園では授業が午前と午後の二部制で行われていることが一般的であり、子どもたちが十分な教育を受けられる時間が制限されています。また、教育資源の不足に加え、都市部と農村部の貧富格差が拡大していることが、農村地域における教育機会をさらに制限する要因となっています。

カンボジアでは「最も所得の低い」とされる層が全体の約3割を占めておりますが、その層に過半数の子どもたちが属しているとの報告もあります。このような困窮した家庭の子どもたちは、学校や幼稚園に通うことを諦めざるを得ない状況にあり、幼少期から家事や農作業、あるいは都市部での低賃金労働に従事せざるを得ない場合が少なくはありません。これにより、教育を受ける機会そのものが世代間で失われる悪循環が懸念されています。

今回の寄付支援では、幼児教育全般への支援に重点が置かれ、複数の幼稚園での遊具整備や施設整備に寄付金が充てられました。この支援により、「保護者の幼児教育への理解度向上」が期待されるとともに、「幼稚園児の通園率の改善」が進み、多くの子どもたちが楽しく遊びながら学べる環境が構築されています。

さらに、教育支援の整備によって地域全体の意識向上が促され、特に農村部での教育参加が徐々に拡大する可能性が見込まれます。このような取り組みを継続的に行い、教育の機会均等が少しずつでも達成されることで、子どもたちが将来の夢を描き、実現する基盤が作れることに寄与していきたいと考えております。



設置された遊具等

公益財団法人シャントイ国際ボランティア会の HP はこちら

<https://sva.or.jp/>

【報道関係の方のお問い合わせ先】

株式会社 J P メディアダイレクト 経営管理本部

担当：今埜

TEL :03-5157-6071(代表)